

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	多発性骨髄腫に対する同種移植後のエロツズマブ維持療法の後方視的解析
研究責任者	血液内科 副部長 塚田 信弘
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>研究の概要:多発性骨髄腫の治療は、2006年承認されたボルテゾミブ以来、サリドマイド、レナリドミドなどの新規薬剤が登場し劇的に改善しました。同種造血幹細胞移植は、新規薬剤や自家移植後に再発した患者さんに対し治癒を期待できる治療選択肢ですが、同種移植後にも効率に再発が認められることから、至適な維持療法の開発が求められています。</p> <p>本研究では、2015年7月～2018年8月に当センターで多発性骨髄腫に対して同種移植を行われた15名の患者さんのうち、エロツズマブを含む維持療法を行った6名の患者さんを対象とし、患者背景、奏効、治療関連毒性等について後方視的に解析を行いました。</p>
研究方法	<p>対象:2015年7月～2018年8月に行われた多発性骨髄腫に対して同種移植を受け、維持療法としてエロツズマブによる治療を受けた6例の患者さんを対象としています。</p> <p>研究の方法:診療録をもとに、患者さんの背景、治療成績、副作用等を解析します。解析されたデータは学会で公表させていただきます。</p> <p>倫理的配慮:個人情報保護には十分な配慮を行った上で解析を致します。上記対象に該当すると思われる患者さんで、本研究への登録を希望されない方は下記までご連絡下さい。参加を希望されない場合でも不利益を被ることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者:塚田 信弘 TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604</p>